

ニュースレター

2012年6月

目次	ページ
SPA 運営委員会会議 ワイマール (ドイツ)	2
2012-2016 年 SPA 運営委員会選挙	2
世界アーカイブ宣言広報活動	3
SPA 年次総会 ブリスベン (オーストラリア)	3
新 SPA ガイドライン	3
写真・AV アーカイブワーキンググループ	4
カナダから活動の呼びかけ	4
加盟協会からのお知らせ	5

SPA ニュースレター2012年6月号へようこそ。このニュースレターの目的は、SPA の活動やプロジェクトの最新情報をメンバーに提供し、専門的記録管理と公文書協会との国際的な協力・連携を深めることです。

SPA 運営委員会会議 ワイマール（ドイツ）

3月26日から28日にかけて SPA 運営委員会の年次計画会議が、チューリンゲン中央公文書館館長の Bernhard Post 博士およびドイツアーカイブ協会（Verband deutscher Archivarinnen und Archivare）の主催で行われました。この会議には、フランス、スイス、ドイツ、イギリス、スウェーデン、イスラエル、オランダ、メキシコ、カタロニア、アメリカ、カナダおよびオーストラリアからの協会代表が参加しました。

この会議では、2012-2016 年度の SPA ビジネス計画や、「連携プログラム」の作成、発展途上国で SPA ができる支援、そして協会のガイドラインの追加事項の作成等、SPA が進行しているプロジェクトの詳細事項が議題として扱われました。

運営委員会は、ドイツ連邦公文書館館長の Michael Hollmann 博士やドイツアーカイブ協会の Clemens Rehm 副会長と会見し、共通の関心事について話し合いました。

[写真]

Henri Zuber SPA 運営委員会会長。ドイツ連邦公文書館館長 Michael Hollmann 博士とドイツアーカイブ協会の Clemens Rehm 副会長とともに。2012 年ワイマールにて（写真提供：Bernhard Post 博士）

数々の視察が用意され、運営委員会はチューリンゲン中央公文書館、バウハウス大学公文書館、アナ・アマリア太后妃図書館、ゲーテ・シラー文書館、エルフルトの礼拝堂、ワルトブルク城、ブーヘンバルト強制収容所、『大量殺戮』の技術者たち Topf & Sons - アウシュビッツの焼却施設の建設者」展等を訪問しました。この展覧会はブーヘンバルトとミッテルbau＝ドーラ記念財団がユダヤ博物館とアウシュビッツ州立博物館と共催で企画されたものです。この展覧会に行ったことで、運営委員会はビジネスにおけるアーカイブの倫理というテーマで国際ビジネスアーカイブ会議のエルフルトでの開催を企画することを決定しました。

[写真]

SPA 運営委員会メンバー ワイマールにて（3月28日）

2012-2016 年 SPA 運営委員会選挙

2012-2016 年度 SPA 運営委員会の候補者として、以下の推薦が届いています。委員会の選挙は 8 月 22 日に行われる SPA 年次総会で正式発表されます。

スイス：スイスアーカイブ協会 Cristina Bianchi 氏

オランダ：オランダアーキビスト協会 Fred van Kan 氏

ケベック：ケベックアーキビスト協会 Claude Roberto 氏

ドイツ：ドイツアーキビスト協会 Bernhard Post 氏

カタロニア：カタロニアアーキビスト・記録専門家協会 Joan Antoni Jimenez 氏

ノルウェー：ノルウェーアーキビスト協会 Vilde Ronge 氏
アメリカ：アメリカアーキビスト協会—公認アーキビストアカデミー Gregor Trinkaus-Randall 氏
メキシコ：公文書科学発展協会 Dario Martinez 氏
韓国：韓国記録専門家・アーキビスト協会 Sangmin Lee 氏
ポーランド：ポーランドアーキビスト協会 Piotr Zawilski 氏
ブラジル：ブラジルアーキビスト協会 Maria Celina Soares de Mello e Silva 氏
イスラエル：イスラエル公文書情報協会 Galia Duvidzon 氏
フランス：フランスアーキビスト協会 Ousmane M'Baye 氏
香港：香港アーキビスト協会 Simon Fook Keung Chu 氏
オーストリア：オーストリアアーキビスト公文書協会 Josef Riegler 氏

世界アーカイブ宣言広報活動

2010年9月にオスロで行われたICA年次総会で採用された世界アーカイブ宣言は、2011年11月、ユネスコの第36回総会で承認されました。

宣言の内容がICAとユネスコで承認された今、次のステップは世界中のすべての人々にこれを広報していくことです。SPAが作成したテンプレートにユネスコのロゴを付けて更新したり、各協会がそれぞれのロゴを追加できるスペースを設けたりする作業が行われています。その他に実施されている活動は、世界アーカイブ宣言を支援する人々が自身の名前を追加できるオンライン登録の開発です。

SPA年次総会 ブリスベン（オーストラリア）

SPA年次総会は、8月22日（水）3時30分—5時の日程でブリスベンにて開催されます。提案されている2012—2016年度ビジネスプラン等、SPAの活動に関するプレゼンテーションが行われます。2011—2012年度SPA年次報告書と会議の議題は、開催前に会員に送られます。運営委員会の退任者と新任者の合同会議は、8月20日に行われます。

新SPAガイドライン

SPA運営委員会は、メンバー協会が運営や会員へのサービス向上に役立てられるよう新たに二つのガイドラインを作成しています。ひとつは協会表彰プログラムの設置・運営についてであり、もうひとつは協会出版物の作成についてです。

表彰プログラムのガイドラインの草案は、ワイマールの運営委員会で発表され、承認を受けました。近いうちにSPAのウェブサイトでご覧可能になり、英語、フランス語、スペイン語でSPAマニュアルに掲載されます。協会表彰プログラムは、公文書管理に顕著な貢献をしたり、協会に功績を与えたりした人々を表彰する手段として活用できます。このガイドラインには協会が表彰プ

ログラムを作成、計画、実施する際に検討する項目のチェックリストを提供しています。

協会出版物の作成に関するガイドラインは、イギリスとアイルランドのアーカイブズとレコード協会の編集者によって SPA 向けに制作されており、ブリスベンの会議後に入手可能になります。

写真・AV アーカイブワーキンググループ (PAAG)

ICA の写真・AV アーカイブワーキンググループは、写真や AV アーカイブの安全な保存を支援するために設置されました。このワーキンググループは、総合ガイドラインや写真・AV コレクションを扱っているアーキビストの教育資料の作成に専念しているアーカイブの専門家によって構成されています。

これまでの活動は、写真・AV コレクションの管理方法に関するアドバイスや保存活動に役立つソフトウェアやツールに関する情報を集めたサバイバル・キットの開発等があります。2012 年度にグループは、実際の経験から得た共通の方法論を作り出している世界中のアーカイブ専門拠点からの事例研究集を出版する計画です。各研究のプロジェクトの目標、実施した作業の分析、達成した結果が概説されます。

サバイバル・キット等、写真・AV ワーキンググループについて更に知りたい場合は、サイトをご覧ください。

<http://www.ica.org/5074/about-photographic-and-audiovisual-archives-group/about-photographic-and-audiovisual-archives-working-group.html>

カナダから活動の呼びかけ

2012 年 4 月 30 日、国からの資金援助の削減により、カナダアーカイブ開発プログラム (NADP) が廃止されました。このプログラムは、カナダの歴史を地域社会で保存するためのものでした。アーカイブ施設や協会を支援していた複数のアーカイブ協議会が即刻活動中止を強いられ、数多くのアーカイブ関係者が職を失いました。カナダ図書・公文書館はアーカイブスタッフを 20%削減し、一般へのサービスを削減また一部廃止することを強いられました。その結果、政府の透明性の確保、一般市民への情報提供、カナダの文化・社会記録の保存というアーカイブの役割が大幅に縮小されることとなります。

カナダのアーキビストによるデモ行進が 5 月 28 日、首都のオタワで行われ、エドモントン、カルガリー、ビクトリアでも行われました。

最新情報の入手やカナダのアーキビストへの支援は、以下のブログにアクセスしてください。

<http://archiviststrek2012.tumblr.com/>

加盟協会からのお知らせ

カタロニアアーキビスト協会

ジローナ市協議会（スペイン、カタロニア州）の画像研究普及センター（CRDI）とカタロニアアーキビスト協会の主催で、第12回国際画像研究会議が2012年11月20日から23日までジローナ市で開催されます。詳しくは以下のサイトをご覧ください。

http://www.girona.cat/sgdap/esp/jornades_presentacio.php

公文書記録文書管理学校の写真アーカイブ管理専攻のオンライン版大学院証明書が入手可能になりました。これは画像研究促進センター、カタロニアアーキビスト協会、およびカタロニア写真研究所との協力によるものです。詳しくは以下のサイトをご覧ください。

http://www.esaged.com/articles-mostra-1614-esppostgrau_on_line_de_gestio_preservacio_i_difusio_d'arxius_fotografics.htm

チリアーキビスト協会

チリアーキビスト協会は、国際会議（IV COINDEAR）を2012年4月10日から13日にかけてチリのマイポ州サンベルナルドで開催しました。

Eugenio Bustos Ruz チリアーキビスト協会会長が、その会議運営を担当した委員会を指揮しました。アメリカからの公認アーキビストである Trudy Huskamp Peterson 氏は、サンチアゴの記憶と人権博物館における人権についての講演とともにアーカイブと民主主義についてのプレゼンテーションを行いました。この会議では博物館にも訪問しました。Julia Maria Rodriguez Barredo 前スペイン国立 ANABAD 会長は、1949年から2012年までの協会の歴史についてプレゼンテーションを行い、アルゼンチンからの Liliana Patino 氏はアルゼンチンアーキビスト協会（ANAA）の創設について発表しました。会議ではその他に記録管理、テクノロジー、資格認定、能力開発等のテーマを扱いました。

IV COINDEAR に参加した国々は以下のとおりです。

アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、エルサルバドル、スペイン、アメリカ、ホンジュラス、イタリア、メキシコ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラ

イタリアアーキビスト協会

イタリアアーキビスト協会は、深刻な資金削減のため、SPA 運営委員会への参加取りやめをはじめとする活動の再編成を行っています。2011年の秋にかけて、アーカイブ施設に対する予算削減に反対するデモが全国各地で50回に及んで行われました。この活動はアガサ・クリスティの探偵小説のタイトルを活用し、「そして誰もいなくなった」と呼ばれ、このデモは公共・民間セクターでのアーキビストの数の減少に対する一般の関心を高めることが目的でした。

経済危機に見舞われる中、アーキビストが重要なサービスを提供していないということが広く一

般に公表されました。それに対し、アーキビストたちは現在、一般市民に文化施設が直面している課題を一般市民に知ってもらうために図書館司書や学芸員と密接に協力しています。この三つの専門職と文化大臣の会議が行われ、10月、11月には現在の課題に焦点を当てるため、二つの会議が計画されています。イタリアのアーキビストの活動についての詳細は、以下のサイトをご覧ください。

http://www.anai.org/anai-cms/cms.view?numDoc=217&munu_str=0_11_0_62

オーストラリアアーキビスト協会 (ASA)

協会は、昨年経験した深刻な財政危機を受け、その方針、目的や活動の大幅な見直しを行っています。4月には戦略計画会議を開催し、ASAの目的や多様な記録、情報、幅広い文化を扱う領域の中の小さな協会としてASAが意味するものは何か等、多岐にわたる問題について加盟者が検討する機会を提供しました。ASAの「長老」によるワーキンググループの主導によるディスカッションが続いています。

2008年にASAが発行した「アーカイブ保存」第3版は、今後出版物としてではなく協会のオンラインストアからCDのデジタル版として購入することができます。購入するには次のサイトにアクセスしてください。<https://www.archivists.org.au/shop/f/Product/67/1/> 「アーカイブ保存」はイラストが豊富でアーカイブを作成、管理、発展させる人々にとって実用的な例やツールが数多く記載されています。

カステーリア・レオンアーキビスト専門協会 (ACAL)

カステーリア・レオンアーキビスト専門協会は、アーキビストと学生向けにアーカイブ科学研究と学習の利便性を高めることを目的に、積極的な出版プログラムを実施しています。多くのテーマについての研究論文を発行すると同時に、ACALは「アーキバモス」と「タブラ」も発行しています。

「アーキバモス」(私たちはアーカイブするースペイン語の造語)は、3ヶ月に1度発行され、アーカイブ分野の最新情報の紹介やニュースを扱っています。この出版物には国内外のアーカイブに関するニュースが掲載されています。

「タブラ」はアーカイブ科学の理論的、実践的研究のために年に1度発行されています。20年の歴史を持ち、現代の記録管理と歴史研究の双方において資料のライフサイクルを考慮した調査を行うことで、新しいアーカイブ科学の発展に貢献することを目指しています。

「アーキバモス」が現状への認識を高めることを目的としているのに対し、「タブラ」は専門研究にとって重要な資料となるもので、学際的見地を取り、他の専門家にも役立つ形で毎回アーカイブに関連するテーマを分析しています。「アーキバモス」、「タブラ」およびその他のACALの出版物は、以下の協会のウェブサイトからオンライン注文ができます。

<http://www.acal.es>.

アメリカアーキビスト協会 (SAA)

デジタル環境で仕事をするのは、もはや規則となっており、例外的なことではありません。アメリカアーキビスト協会は、アーキビストがこの複雑な世界で仕事をしていく支援に取り組んでいます。具体的な支援活動は以下の通りです。

- SAA デジタルアーカイブスペシャリスト (DAS) カリキュラム認定プログラムは、電子記録の評価、保存、利用についての教育と研修をアーキビストに提供します。参加者は、個別にコースを受けたり、自分に合った課程を修了し、試験に受かることで SAA からデジタルアーカイブスペシャリストの認定を受けたりすることができます。「メタデータ初心者ガイド」から「アーカイブ内容管理システム」まで、数多くのコースがウェブ上で受講できます。詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www2.archivists.org/prof-education/das>.

- 2011年にSAAから出版された2冊の本は、適切なアドバイスを提供します。「I, Digital: Personal Collections in the Digital Era」は Christopher A. Lee の編集によるもので、Adrian Cunningham (オーストラリア公文書館)、Sue McKemmish (モナッシュ大学)、Susan Thomas (オックスフォード大学) のエッセイをはじめとする10人の専門家のデジタル情報管理に関する著述が掲載されています。また、「A Different Kind of Web: New Connections Between Archives and Our Users」は Kate Theimer によって編集され、読者はアーカイブがインターネットを用いて従来のユーザーや新しいユーザーとどのように接点を持ち、活用されているかを研究し、また自身のアーカイブ管理に役立てられる内容になっています。詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.archivists.org/bookstore>

- カリフォルニア州サンディエゴで8月6日から10日にかけて行われる2012年SAA年次会議では、デジタルに関するトピックが扱われます。教育セッションでは、「ウェブ上での公文書管理：選択、記録、保存およびマーケティング」、「ハイブリッドと遺産：デジタル時代に支援を求める上での課題」、「オープンソースデジタルビデオの保存における課題と利益」等のトピックがあります。詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www2.archivists.org/conference/2012/san-diego>